

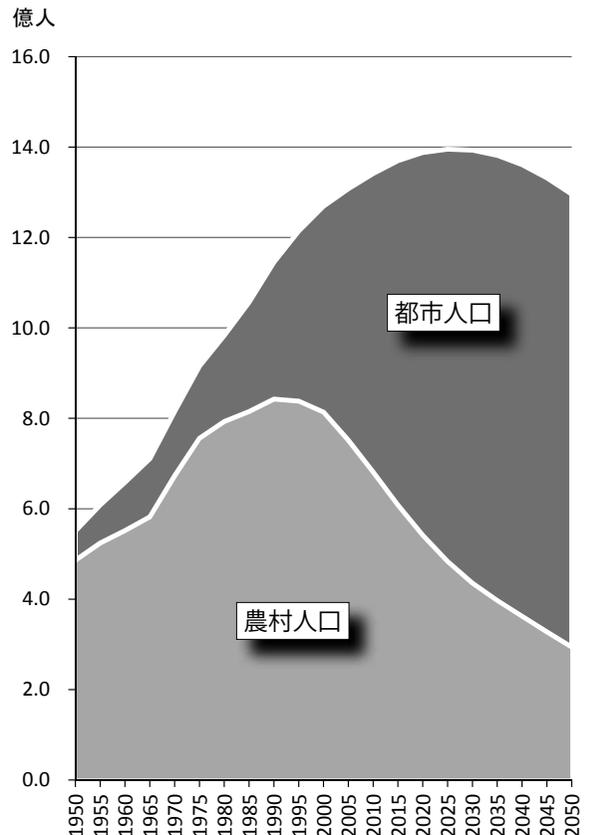
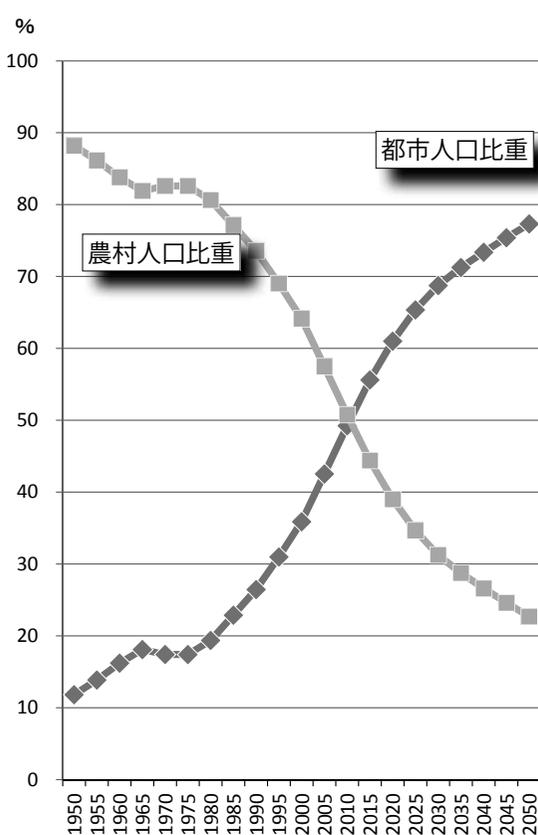
## はじめに

まずは国連の世界人口予測（2012年改訂版）に基づいて描いた下の二つのグラフをご覧ください。左図は2011年をクロスポイントにして、農村人口と都市人口とが逆転し、都市人口が増大していく動態を予測している。2045年には都市人口が4分の3を超え、農村人口は4分1以下になる。右図は農村人口+都市人口の積み上げグラフで、総人口は14億に達することなく2025年以降減少を始め、人口減少社会に突入する。しかし都市の方は増え続け、2015～2050年の35年間に3億4000万人増加する。言い換えると10年毎に1億増加していくテンポで拡大する。

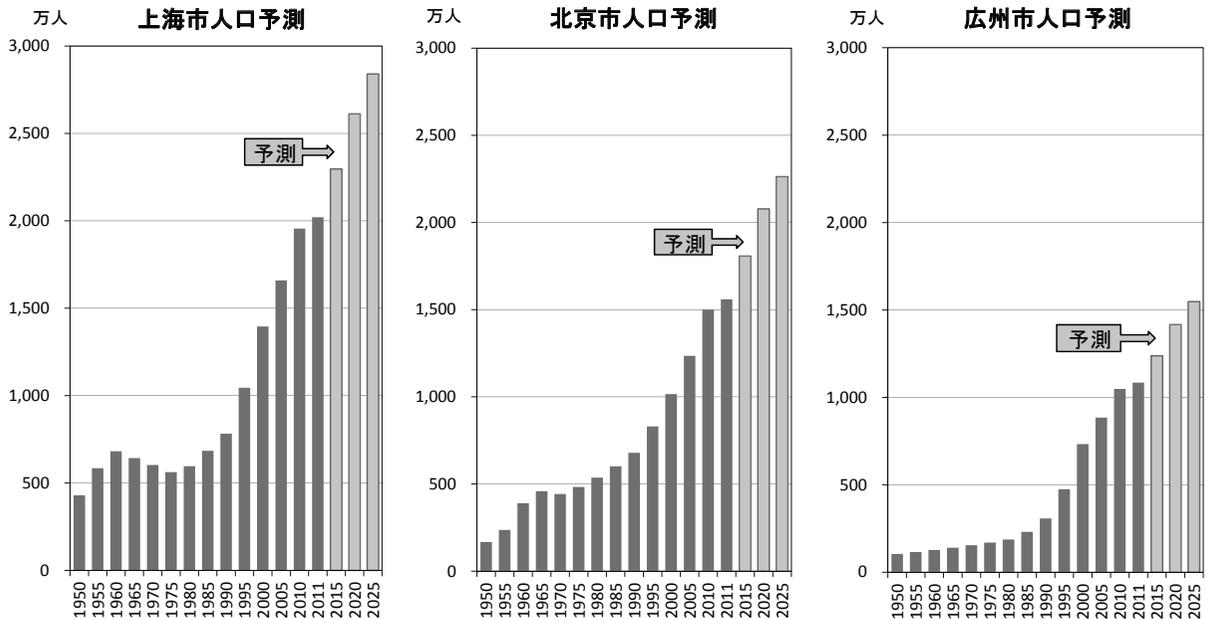
中国は農村社会から都市社会へと大変貌を遂げようとしているのだ。

2010年現在、中国には90の100万人以上都市が存在し、90都市の総人口は、概数で3億人である。これが2025年には4億5000万人余となる。15年間に50%増えるという見通しで、増加する都市人口（1億5000万人）だけでも日本の人口を遥かに超える。

この結果、2025年には1000万人メガロポリスが七つも誕生する。上海3000万、北京2300万、広州・深圳は各々1500万超、重慶・武漢も各々1300万前後、そして天津1200万が新たに加わる。2025年の800万以上1000万人未満都市は東莞、成都、仏山、南京、ハルビン、杭州の7都市。500万以上800万未満は……



## 4 はじめに



(資料) UN, *World Population Prospects: The 2012 Revision*

本書は、この中国都市市場の動態をとらえるために企画された。編集大綱としては以下の5カ条を掲げた。

- (1) 中国全 285 都市の中から第 1 級～ 5 級の 106 都市のデータを選抜して一覧ランキングする。
- (2) 人口力、生産力、消費力の三つの指標から 106 都市の経済パワーを Aa ～ Dd に格付けする。
- (3) 一目でわかるグラフ、数表、地図、図版で 106 都市の特長、魅力を精細に描き出す。
- (4) 中国都市市場動向に注目するビジネスマンの要望に応じて選りすぐりの最新情報を満載する。
- (5) グローバル企業の中国都市市場戦略と製造・サービス拠点を地図上に色鮮やかに描く。

チャイナ・ウォッチング専門出版社として 30 年余にわたる蒼蒼社のノウハウをここにすべて注ぎ込んだ。また、新たな世紀における中国をウォッチして、「情報収集・分析・展望」に努め、日中関係の再構築に貢献できるノウハウを発見しようと設立された 21 世紀中国総研の知見を全面展開した。執筆では、乾坤一擲、事務局長自身が奮い立ち、編集実務は田中典子、中村知子、阿部真紀子、姜成山、石巨峰、安林、遲建春の面々が冷静沈着に才腕をふるった。いつもながら 21 世紀中国総研 矢吹晋ディレクター、高橋博研究員からは有益なアドバイスを頂戴したが、「中国は歓楽に向かう」と喝破された竹内実顧問の教えを受けられなくなったのは痛恨の極みである。ゴッドファーザー（名付け親）の一周忌に際して先生の墓前に本書を供したいと思う。本書が日本のビジネスマンの対中戦略立案、更なる飛躍のために、いささかでもお役に立つことができれば、我々の努力は報われるであろう。

2014 年 3 月 3 日

(株)蒼蒼社代表取締役兼 21 世紀中国総研事務局長  
中村公省